

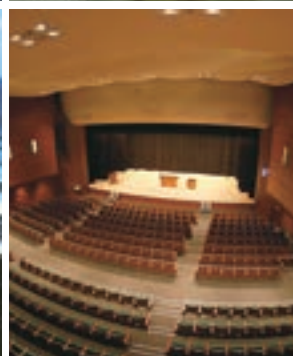
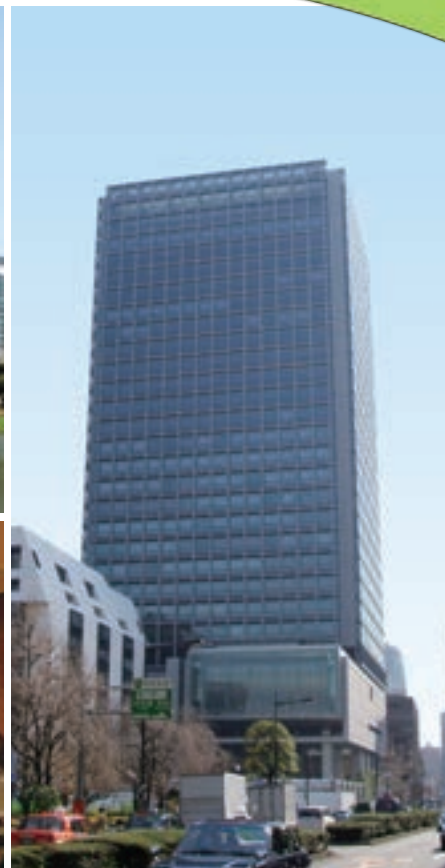
第124期中間 株主通信

2014年4月1日 ▶ 2014年9月30日



飯野海運株式会社

証券コード 9119





代表取締役社長

関根 知之

目次

株主の皆様へ	1
ビジネスレポート	2
ニュース&トピックス	5
財務ハイライト	6
会社概要	9
株式情報	10

当中間期の事業環境について

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第124期中間株主通信（2014年4月1日から2014年9月30日まで）をお送りするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当中間期（第2四半期連結累計期間）の世界経済は、各国の景気回復のペースにばらつきがある中、ウクライナ危機、中東情勢の不安定化や米国の金融緩和縮小などを理由として景気下振れリスクへの懸念が高まりました。中国も輸出に回復の動きが見られたものの、内需に力強さが欠け、減速傾向を強めました。

わが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動を大きく受けましたが、経済政策の効果を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。

当中間期の取り組み・業績について

当社グループは2020年に向けたグループ企業の一層の成長を目指し、3ヵ年の中期経営計画「STEP FORWARD 2020」「攻めの展開へ」（計画期間：2014年4月～2017年3月）を2014年4月に発表いたしました。今後、営業の展開を攻めへと転換し、2020年に向けて信頼されるグローバル企業への成長を成し遂げ、企業価値の持続的向上のために収益力をより一層強化して参ります。

当中間期の業績・取り組みにつきまして申し上げますと、海運業においては、全体として市況の低迷が続きましたが、輸送需要の回復の兆しが見えてきた船種が一部あり、また為替も102円/US\$前後で推移し円安傾向となりました。その中で、既存契約の有利更改をはじめとして、効率配船及び省エネ運航による燃料費削減に努めた結果、前年同期比増収増益を確保いたしました。

不動産業においては、各企業でオフィス拡張意欲が高まり、市況は若干の回復傾向を示したものの、ビル間テナント誘致競争は依然として激しい状態が続いております。そのような中、当社グループでは各ビルにおいて良質なテナントサービスを提供することに努め、一部で契約終了による空室の発生及び営繕工事の集中があったものの、前年同期比ほぼ同水準の利益となりました。

以上の結果、当中間期の連結業績につきましては、売上高508億22百万円、営業利益43億95百万円、経常利益35億27百万円、四半期純利益37億78百万円となりました。

なお、今中間期の配当につきましては、安定配当を継続するという当社基本方針に基づき、1株当たり普通配当5円とさせていただきます、期末配当金は5円、通年で10円を予定しております。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えできるよう精励いたしますので、引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

外航海運業

売上高 402億7百万円
営業利益 19億23百万円



■ オイルタンカー

原油タンカー市況は、東アジア地域製油所の定期修理終了に伴う需要増加等から7～8月は一時的に上昇しましたが、9月に入り中東におけるスポット成約数が減少し、市況は低調に推移しました。一方、プロダクトタンカー市況は、米国からの石油製品の輸出減少等から総じて低調に推移しましたが、欧州・極東間の長距離輸送が増加したことで堅調に推移しました。当社グループの原油タンカー及びプロダクトタンカーにおいては支配船腹の大半を中長期契約に継続投入し、安定収益の確保に努めました。



KIHO 300,866DWT(原油タンカー)

■ ドライバルクキャリア

ドライバルクキャリア市況は、9月に北米積みの穀物輸送が始まると、太平洋、大西洋ともに底入れしたものの、本格的な回復には至りませんでした。当社グループのドライバルクキャリアにおいては、石炭専用船やチップ専用船が順調に稼働する中、大型船を数量契約に投入するなど収益の安定化を図りました。また、減速航行による燃料費削減に加え、港費等の削減にも努めることで採算の向上に努めました。



MARTIN ISLAND 32,723DWT(ドライバルクキャリア)

■ ケミカルタンカー

ケミカルタンカー市況は、中国経済の成長鈍化等による石油化学製品の需要の伸び悩みに加え、堅調な米国内需要が大陸間の長距離海上輸送量の減少に繋がり軟化しました。しかしながら、パームオイル輸送については、インド・パキスタン向けの輸送需要の回復に伴い第2四半期後半に市況は上昇しました。当社グループのケミカルタンカーにおいては、主要航路である中東航路では契約数量を引き続き順調に消化するとともに、効率的な配船に取り組みました。また、パームオイル輸送においてアジアから欧米向けの長距離輸送に積極的に取り組み、船腹需給を引き締めることにより、運航船の稼働率を向上させることができました。



CHEMROAD POLARIS 35,923DWT
(ケミカルタンカー)

■ 大型ガスキャリア

LPGキャリア市況は、大型船を中心に海上輸送需要が依然として旺盛であり、堅調に推移しました。LNGキャリア市況は、輸送需要が回復せず引き続き低迷しました。当社グループの大型ガスキャリアにおいては、既存の中長期契約に継続投入しているLPGキャリア及びLNGキャリアはともに順調に稼働し、安定収益を確保することができました。また、新たに新造大型LPGキャリアの定期用船契約を結ぶ等、新中期経営計画の重点事業であるガス船事業の業容拡大に努めました。



SK SUNRISE 138,270m³(LNGキャリア)

内航・ 近海海運業

売上高 47億81百万円
営業利益 3億65百万円



■ 小型ガスキャリア

内航輸送においては、LPGは夏場の不需要期に入り、荷動きが低調に推移しましたが、石油化学ガスは国内プラントの稼働率が高水準を維持した結果、国内輸送を中心に堅調に推移しました。当社グループの内航輸送は、LPGの不需要期となる夏場に船舶の入渠の実施及び輸送貨物をLPGから石油化学ガスへ転配するなどの対策を講じ、稼働率の維持に努め、石油化学ガスは国内輸送の需要押し上げもあり、運航船の稼働率は好調に推移しました。

近海輸送においては、中国の景気減速に加えて季節要因による需要減退も重なり、東南アジアから中国向けを中心とした荷動きは低迷が続き、アジア域内の船腹余剰感が強まったことに伴い運賃市況は下落基調となりました。当社グループの近海輸送は、支配船腹の大半を中長期契約に投入しており、更改期を迎えた一部の船舶については市況下落の影響を最小限に留め契約を更改することで、収益水準の維持に努めました。



徳邦丸 1,830.24m³(小型LPGキャリア)

不動産業

売上高 58億75百万円
営業利益 21億6百万円



■ 不動産賃貸／不動産関連事業

都心のオフィスビル賃貸市況は、各企業でオフィス拡張意欲が高まり、その需要拡大を背景に空室率の減少が続いていることに加え、オフィスビル間の激しいテナント誘致競争により、本格的な賃料水準の回復傾向には至りませんでした。当社グループの賃貸ビルにおいては、所有する各ビルで良質なテナントサービスの提供に努めておりましたが、一部で契約終了による空室が発生し、営繕工事も集中しました。

貸ホール・貸会議室においては、多数の競合施設がある中、顧客の繋ぎ止めを含め厳しい顧客獲得競争が続きましたが、セミナー、講演会、映画試写会、その他催事の積極的な誘致により、稼働の維持に努めました。

スタジオ関連事業は、スタジオ、レタッチ、プロデュースの各部門では消費税増税前の駆け込み需要の反動から低迷したものの、ロケーション部門においては新規案件取得もあり堅調に推移しました。



イイノカンファレンスセンター

■ 運 航 船 腹

(2014年9月30日現在)

保有形態 船 種		社 船		用 船		合 計	
		隻 数	重量トン数	隻 数	重量トン数	隻 数	重量トン数
外航海運業	オイルタンカー	2	601,911	1	105,593	3	707,504
	ケミカルタンカー	12	370,080	32	1,050,615	44	1,420,695
	大型ガスカリヤ	14	965,438	3	132,598	17	1,098,036
	ドライバルクキャリア	11	763,871	15	501,102	26	1,264,973
内航・近海海運業	小型ガスカリヤ	18	30,143	11	37,618	29	67,761
合 計		57	2,731,443	62	1,827,526	119	4,558,969

(注) 1. 社船には、グループ会社が所有する船腹を含みます。
2. 社船の重量トン数には共有相手持分を含めて記載しております。

■ 賃 貸 ビ ル

(2014年9月30日現在)

名 称	所在地・延床面積 (m ²)
飯野ビルディング	東京都千代田区内幸町 97,918.93
汐留芝離宮ビルディング	東京都港区海岸 32,702.37
東京 桜 田 ビル	東京都港区西新橋 17,762.63
東京富士見ビル	東京都千代田区富士見 10,674.86
飯 野 竹 早 ビル	東京都文京区小石川 4,736.37
笹塚センタービル	東京都渋谷区笹塚 11,973.11
合計	175,768.27

* 飯野ビルディングはⅡ期工事が完了し、2014年11月7日にⅡ期工事区画も開業し、延床面積は103,826.88㎡となっております。
* 汐留芝離宮ビルディング、東京桜田ビル及び東京富士見ビルは他者と共有しており、延床面積には他者持分も含めて記載しております。

■ 主なグループ会社

(2014年9月30日現在)

外航海運業	船舶の運航及び貸渡	Chemroad Echo Navigation S.A.
	船舶管理	イノマリンサービス(株)
	海運仲立業及び船舶用品売買	イイノエンタープライズ(株)
内航・近海海運業	運航・貸渡及び船舶管理	イイノガストランスポート(株)
不動産業	ビル管理	イイノ・ビルテック(株)
	倉庫業	泰邦マリン(株)
	フォトスタジオ	(株)イイノ・メディアプロ

飯野ビルディング グランドオープン

2011年10月にオフィス棟が開業した飯野ビルディングは、Ⅱ期工事完了によって約7年間にわたるプロジェクトが終了し、2014年11月7日にグランドオープンいたしました。Ⅱ期工事では、日比谷公園に隣接する約600坪の大きな植栽帯とアートで構成された憩いの空間を創出する「イイノの森」が造られました。また、飲食店等が立ち並ぶ「イイノダイニング」では、既存の18店舗に加え新たに8つの店舗がオープンしております。さらに東京メトロ「霞ヶ関」駅C4出入口と直結し、飯野ビルディングをご利用いただく皆様の利便性が高まりました。

■ 飯野ビルディング概要

所在地	東京都千代田区内幸町二丁目1番1号
用途	事務所・店舗・ホール
敷地面積	8,027.24㎡
延床面積	103,826.88㎡
交通	東京メトロ丸の内線・千代田線・日比谷線「霞ヶ関」駅C4出入口直結 東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅 徒歩約3分 都営三田線「内幸町」駅 徒歩約3分 JR線「新橋」駅 徒歩約10分 新交通ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩約10分
高さ	147m
階数	地上27階、塔屋2階、地下5階
構造	鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造
設計	株式会社竹中工務店
設計監理	株式会社竹中工務店
設計監修	株式会社日建設計
工事監理	株式会社日建設計
施工	株式会社竹中工務店



グランドオープンにより完成したイイノの森

■ Ⅱ期竣工式

2014年11月7日のグランドオープンに先立ち、2014年10月20日に執り行われました飯野ビルディングⅡ期竣工式には、当社社長をはじめ当社関係者及び工事関係者並びに近隣の方々が出席し、飯野ビルディングの完全竣工を祝って式典が行われました。



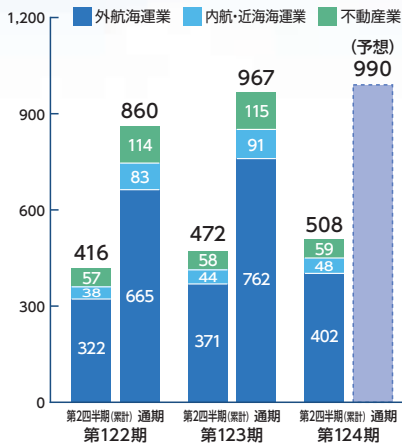
Ⅱ期竣工式披露宴で挨拶する関根知之社長

■ 詳細につきましては当社プレスリリースよりご覧いただけます。

<http://www.iino.co.jp/kaiun/docs/topics20141107-1.pdf>

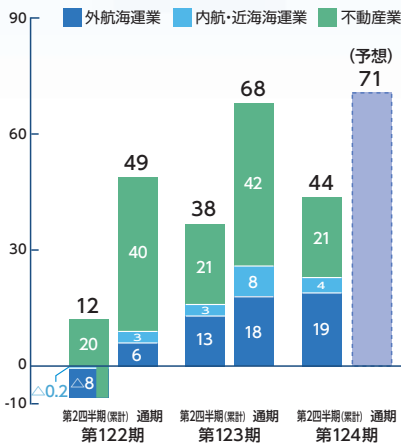
売上高

(単位:億円)



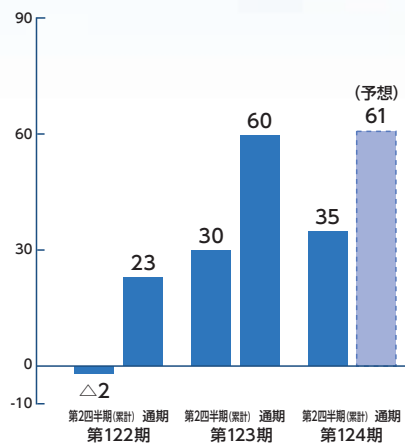
営業利益又は営業損失(△)

(単位:億円)



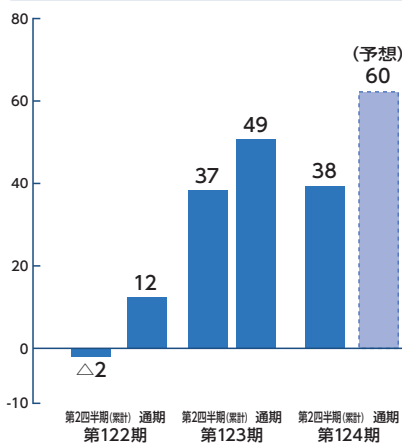
経常利益又は経常損失(△)

(単位:億円)



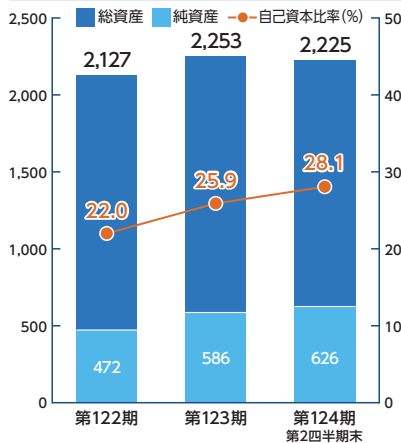
純利益又は純損失(△)

(単位:億円)



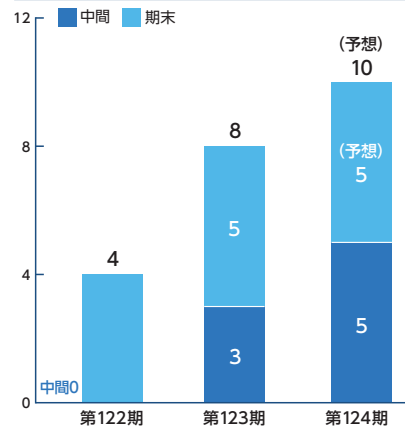
総資産・純資産・自己資本比率

(単位:億円)



配当金

(単位:円)



※表示金額未満を四捨五入しております。

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円、単位未満四捨五入)

科 目	前連結会計年度末 (2014年3月31日現在)	当第2四半期連結 会計期間末 (2014年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	36,496	33,576
固定資産	188,816	188,909
有形固定資産	171,338	169,672
無形固定資産	552	522
投資その他の資産	16,925	18,715
① 資産合計	225,312	222,484
負債の部		
流動負債	46,306	35,440
固定負債	120,439	124,428
① 負債合計	166,744	159,868
純資産の部		
株主資本	54,664	57,887
資本金	13,092	13,092
資本剰余金	7,613	7,613
利益剰余金	34,007	37,230
自己株式	△48	△49
その他の包括利益累計額	3,640	4,585
その他有価証券評価差額金	1,816	2,580
繰延ヘッジ損益	1,119	1,469
為替換算調整勘定	705	536
少数株主持分	263	145
純資産合計	58,568	62,616
負債純資産合計	225,312	222,484

Point① 資産・負債

資産合計は、固定資産の減価償却が進んだことなどにより、前期末比28億28百万円減少の2,224億84百万円となりました。負債合計は借入金の減少などにより、前期末比68億77百万円減少の1,598億68百万円となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円、単位未満四捨五入)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)
売上高	47,234	50,822
売上原価	40,406	43,253
売上総利益	6,828	7,568
販売費及び一般管理費	3,052	3,174
② 営業利益	3,776	4,395
営業外収益	614	447
営業外費用	1,421	1,314
③ 経常利益	2,970	3,527
特別利益	871	1,656
特別損失	14	1,216
税金等調整前四半期純利益	3,827	3,968
法人税等合計	75	197
少数株主損益調整前四半期純利益	3,751	3,771
少数株主利益又は少数株主損失(△)	63	△7
四半期純利益	3,688	3,778

Point② 営業利益

円安や効率配船の徹底に加え、飯野ビルディングが順調に稼働したことなどにより営業利益は43億95百万円(前年同期比6億18百万円の増益)となりました。

Point③ 経常利益

営業利益が増益になったことなどにより経常利益は35億27百万円(前年同期比5億58百万円の増益)となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位：百万円、単位未満四捨五入)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	
営業活動による キャッシュ・フロー	6,614		8,712	
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,392		△2,805	
財務活動による キャッシュ・フロー	2,999		△7,216	
現金及び現金同等物に 係る換算差額	266		95	
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	8,488		△1,214	
現金及び現金同等物の 期首残高	8,670		16,906	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	17,158		15,692	

キャッシュ・フロー分析

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、主に減価償却費と税金等調整前四半期純利益により87億12百万円のプラスとなりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、主に船舶及び不動産への設備投資を中心とした固定資産の取得による支出が、船舶を中心とした固定資産の売却収入を上回ったことにより28億5百万円のマイナスとなりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、主に長期借入金の返済による支出が、長期借入金による収入を上回ったことにより72億16百万円のマイナスとなりました。

■ 詳細につきましては当社ホームページよりご覧いただけます。

<http://www.iino.co.jp/kaiun/ir/brief.html>

飯野海運



(単位：億円)

科 目	第122期		第123期		第124期	
	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期 (予想)
売上高	416	860	472	967	508	990
海運業	360	748	415	853	450	—
外航海運業	322	665	371	762	402	—
内航・近海海運業	38	83	44	91	48	—
不動産業	57	114	58	115	59	—
営業利益又は営業損失(△)	12	49	38	68	44	71
海運業	△8	9	17	26	23	—
外航海運業	△8	6	13	18	19	—
内航・近海海運業	△0.2	3	3	8	4	—
不動産業	20	40	21	42	21	—

※表示金額未満を四捨五入しております。

■ 会社概要

商 号 飯野海運株式会社
IINO KAIUN KAISHA, LTD.
(略称：IINO LINES)

創業 1899 (明治32) 年7月

資 本 金 13,091,775,488円

主要事業内容 海運業、不動産業

本社 〒100-0011
東京都千代田区内幸町二丁目1番1号
飯野ビルディング

事業所 海外 ドバイ、大連
海外現地法人 シンガポール、ロンドン、
コネチカット、ヒューストン

グループ会社	連結対象子会社	57社
	持分法適用関連会社	4社
	連結対象外関係会社	12社
	合計	73社

上場取引所 東京(第一部)、福岡

取締役及び監査役並びに執行役員

役 職	氏 名	担当及び他の法人等の代表状況等
代表取締役社長 社長執行役員	関根 知之	
代表取締役 専務執行役員	中上 良彦	総務・企画部管掌、経理部管掌 及び人事部担当
取締役 専務執行役員	近光 護	油槽船・ガス船部担当 及び専用船・不定期船舶担当
取締役 専務執行役員	安齋容一郎	IINO LINES (U.S.A.) INC. 取締役社長 及び海外戦略担当
取締役 常務執行役員	大橋 恵明	経理部担当及び イイノマネジメントデータ(株)代表取締役社長
取締役 常務執行役員	當舍 裕己	総務・企画部担当
取締役 常務執行役員	大島 久弘	船員部担当、海務安全部担当及び イイノマリンサービス(株)代表取締役社長
執行役員	三宅 茂樹	イイノガストランスポート(株) 代表取締役社長
取締役 執行役員	岡田 明彦	不動産事業部担当
取締役 執行役員	小蘭江隆一	ケミカル船第一部担当、 ケミカル船第二部担当及び IINO SINGAPORE PTE.LTD. 取締役社長
執行役員	古澤 宏	総務・企画部長委嘱
執行役員	荒木 俊雄	船員部担当補佐、 海務安全部担当補佐及び イイノマリンサービス(株)常務取締役
執行役員	長命 渉	専用船・不定期船舶長委嘱
執行役員	長谷川陽一	油槽船・ガス船舶長委嘱
取締役	遠藤 茂	(非常勤、社外取締役)
監査役	大野 伸二	(常勤)
監査役	星野 憲一	(常勤)
監査役	鈴木 進一	(非常勤、社外監査役)
監査役	佐久間信夫	(非常勤、社外監査役)

(注) 当社は、上場している各証券取引所に対して、取締役 遠藤茂 及び 監査役 鈴木進一の両氏を独立役員として届出ております。

株式の状況

発行可能株式総数	440,000,000株
発行済株式の総数	111,075,980株
株主数	10,059名

大株主 (上位10名)

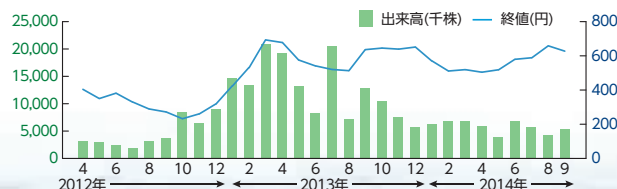
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
川崎汽船株式会社	5,940	5.35
東京海上日動火災保険株式会社	5,689	5.12
株式会社みずほ銀行	4,941	4.45
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ	4,521	4.07
ロンドン スペシャル アカウント ナンバー ワン		
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)	4,183	3.76
RE 15PCT TREATY ACCOUNT		
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,086	3.68
飯野海運取引先持株会	3,860	3.47
三井住友信託銀行株式会社	3,622	3.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,313	2.98
日本生命保険相互会社	2,256	2.03

(注) 1.持株数は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。
2.持株比率の計算からは、自己株式 (104千株) を除いております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



インフォメーション

■「特別口座」で株式をお持ちの株主様へ

株券電子化前に証券保管振替機構(ほふり)へ預託されなかった株主様には、当社の株主名簿管理人である三井住友信託銀行に「特別口座」を開設しております。特別口座は、株主様の権利を保全するための暫定的な口座であり、この特別口座に記録された株式は、証券会社の取引口座に振り替えなければ売買できませんので、お早めに証券会社の取引口座への振替をお願いいたします。

特別口座からの振替のお手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行又はお取引の証券会社へお問い合わせください。

株券電子化に関するご質問・ご相談は、株券電子化コールセンターへ

「株券電子化」なんでも相談窓口
(株券電子化コールセンター)

フリーダイヤル 0120-77-0915

(平日 9:00~19:00/土 9:00~17:00)

株券電子化コールセンターは、証券保管振替機構・日本証券業協会、東京証券取引所が共同で運営する株券電子化についての相談窓口です。

■ 詳細につきましては当社ホームページよりご覧いただけます。

<http://www.iino.co.jp/kaiun>

飯野海運



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月に開催いたします。
定時株主総会の基準日	3月31日 なお、上記のほか必要があるときは、 予め公告いたします。
配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日（中間配当実施の場合）
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
事務取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない事故 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載して行うこととします。 当社の公告はホームページに掲載しております。 http://www.iino.co.jp/kaiun
飯野海運株式会社	〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号 飯野ビルディング 電話 (03)6273-3069



環境保全のため植物油インキを
使用して印刷しています。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



IINO LINES

<http://www.iino.co.jp/kaiun>